

# 第90期 中間事業のご報告

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、  
あらかじめ公告して定めた日

■ 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
(郵便物送付先) 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

(電話照会先) ☎0120-094-777 (通話料無料)

(インターネットホームページURL)

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告  
当社のホームページ  
(<http://www.tatsuta.co.jp>) に  
掲載する。  
ただし、事故その他やむを得ない  
事由によって電子公告による  
公告をすることができない場合  
は、日本経済新聞に掲載して行う。

■ 上場証券取引所 東京

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 証券会社に口座を開設なされておられない株主様のお手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である下記までお問い合わせください。  
特別口座の口座管理機関  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
(電話照会先) 0120-782-031
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にて、お支払いいたします。



代表取締役社長 木村政信

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第90期中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

平成25年12月

## [営業の概況]

当中間期（第2四半期累計期間）における我が国経済は、政府の打ち出した経済政策および日銀による積極的金融緩和策により、為替の円高の是正、株式市場価格の上昇、民間設備投資の回復等、景気回復への期待感が膨らみました。その一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速、輸入品価格の上昇等国内景気を下振れさせる要因が出てきており、また、雇用・所得環境も具体的改善がみられる段階には至っていないなど、依然として先行きの不透明感が拭えない状況となっております。

この間における我が国の銅電線需要量は、建設・電販向け需要は国内設備投資の回復もあって比較的堅調に推移したものの、自動車向けが減少し、電力向け需要も依然として低調なため、全体としては若干減少いたしました。電子材料分野については、スマートフォン向け需要は総じて好調ではあったものの、一部ハイエンドモデルについては伸び悩みがみられるなど、需要構造の変化が顕在化してきております。

当中間期において当社グループは、このような環境下において引き続き効率的な生産・販売活動を推進するとともに、中長期的視点に立った事業全般にわたる競争力の強化のための各種施策を進めてまいりました。

その結果、当中間期の売上高は、前年同期実績比7.1%増の250億9千5百万円となりましたが、営業利益は前年同期実績比17.4%減の25億3千7百万円、経常利益は前年同期実績比14.6%減の26億8千2百万円、中間純利益は、前年同期実績比12.2%減の16億7千万円となりました。

## 電線・ケーブル事業

電線ケーブルの売上高は、銅建値が前年同期期に比べ高めに推移したことに加え、電力向けの販売増等により、前年同期実績に対し6.6%増の137億8千3百万円となりました。営業利益については、これに各種事業構造改善によるコスト削減効果が加わり、前年同期比で5億8百万円改善の1億3千6百万円となりました。

## 電子材料事業

当事業の主要製品である機能性フィルム等の導電機能性材料の販売は、スマートフォンやタブレット端末向けの需要が総じて好調に推移する中、電子材料事業の売上高は前年同期実績比9.1%増の107億7百万円となりました。一方、営業利益については新拠点であるタツタテクニカルセンターの予定どおりの立上げとともに、将来を睨んだ各種事業開発活動を活発化させていることに伴う費用増等があり、前年同期実績比25.0%減の27億2千1百万円となりました。

## その他

環境分析事業は増収、また機器システム事業の販売もほぼ前年並みの売上となりましたが、フォトエレクトロニクス事業分野の売上高が需要立ち上がりの遅れにより減少し、これを主因に、その他事業の売上高は、前年同期実績比11.5%減の6億1千6百万円、営業損益は前年同期実績比3千9百万円減少し、3千2百万円の損失となりました。

今後の我が国経済は、先行きの不透明感が拭えないものの、国内設備投資の改善等により緩やかな回復基調で推移するものと思われます。電線業界においては、建設・電販向けの震災復興および公共投資の増加による需要が見込まれる反面、電力会社の設備投資抑制等、国内需要全体の回復は緩やかなものにとどまることが予想されます。

当社グループは、こうした状況の下、電線・ケーブル事業においては、品質の向上および短納期化を目指し、グループの最適かつ効率的な生産体制の確立を引き続き進めてまいります。また、独自の取り組みとして、グループ固有の技術を生かした、光ドロップケーブルやFAロボット向け特殊ケーブル等の新規製品の開発を進めていくことといたします。

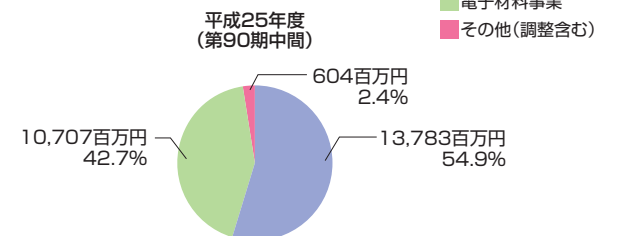
電子材料事業においては、今後も引き続きスマートフォンやタブレット端末等に需要の増加が見込まれる機能性フィルム製品の的確かつ時機を捉えた生産供給体制の確立に努めることとしております。また、導電機能性材料の一層の競争力強化を目指し、京都府・木津川市の「けいはんな学研都市」内に同材料の研究開発および製造を担う新拠点タツタテクニカルセンターは本年4月に操業開始し、順調に稼働しております。さらに、当社では、マレーシアに、当社100%出資のボンディングワイヤ製造販売子会社「Tatsuta Electronic Materials Malaysia Sdn. Bhd.」を設立し、事業の立上げに向けた諸準備を進めておりましたが、このたび関連工事が完了いたしました。サンプル配布および顧客認定のプロセスを経て、本格的な事業の立上げを図るとともに、一層の事業拡大を目指した取り組みを進めてまいります。



タツタテクニカルセンター

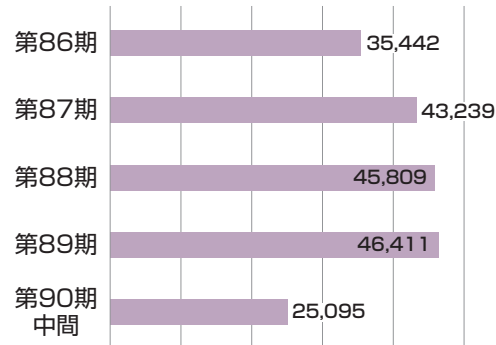
株主各位の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 事業別売上高構成

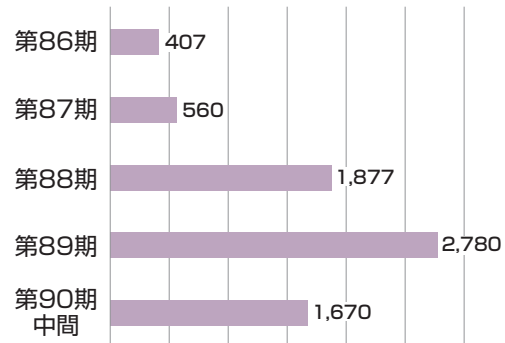


# 業績ハイライト

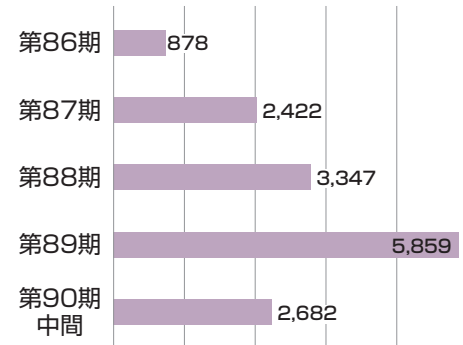
売上高 (単位: 百万円)



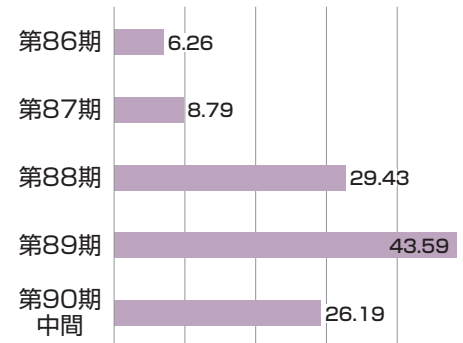
中間(当期)純利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



1株当たり中間(当期)純利益 (単位: 円)



	第86期 (平成22年3月)	第87期 (平成23年3月)	第88期 (平成24年3月)	第89期 (平成25年3月)	第90期中間 (平成25年9月)
売上高 (百万円)	35,442	43,239	45,809	46,411	25,095
経常利益 (百万円)	878	2,422	3,347	5,859	2,682
中間(当期)純利益 (百万円)	407	560	1,877	2,780	1,670
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	6.26	8.79	29.43	43.59	26.19

# 財務諸表

## 中間連結財務諸表

### ■中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当中間期末	前期末
	(平成25年9月30日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	27,752	27,503
固定資産	12,056	11,165
有形固定資産	9,921	9,164
無形固定資産	188	110
投資その他の資産	1,946	1,890
資産合計	39,808	38,668
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,782	6,817
固定負債	2,172	2,317
負債合計	8,955	9,134
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,590	29,367
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,536	4,536
利益剰余金	20,961	19,736
自己株式	△ 1,583	△ 1,581
その他の包括利益累計額	262	165
その他有価証券評価差額金	155	103
繰延ヘッジ損益	31	45
為替換算調整勘定	74	17
純資産合計	30,853	29,533
負債・純資産合計	39,808	38,668

### ■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	(平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	116	2,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	468	△ 3,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 447	342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	4
現金及び現金同等物の増減額	131	△ 158
現金及び現金同等物の期首残高	1,330	749
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,462	590

### ■中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	(平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	25,095	23,436
売上原価	19,025	17,476
売上総利益	6,070	5,959
販売費及び一般管理費	3,532	2,886
営業利益	2,537	3,073
営業外収益	188	131
営業外費用	43	65
経常利益	2,682	3,139
特別利益	—	—
特別損失	—	10
税金等調整前中間純利益	2,682	3,129
法人税、住民税及び事業税	969	1,199
法人税等調整額	42	26
少数株主損益調整前中間純利益	1,670	1,903
中間純利益	1,670	1,903

# 会社情報

## 会社概要

(平成25年9月30日現在)

- 社名 タツタ電線株式会社
- 本店所在地 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
- 設立年月日 昭和20年9月28日
- 資本金 6,676,227,664円
- 従業員 連結 622名  
単体 432名
- 事業内容 電線・ケーブル、電線・ケーブル付属品、電子材料（機能性フィルム、導電性ペースト、ボンディングワイヤ、防錆材）、機器システム製品（防災関連、病院・薬局合理化関連）、光関連製品（コネクタ端末加工、カブラ）の製造販売及び環境分析事業等その他のサービス事業



本社・大阪工場



京都工場

## 役員

(平成25年9月30日現在)

- 代表取締役社長 木村 政信
- 代表取締役 副社長執行役員 橋本 和博
- 取締役 常務執行役員 門脇 信好
- 取締役 常務執行役員 三村 弘治
- 取締役 常務執行役員 中野 紳一郎
- 取締役 常務執行役員 西川 清明
- 取締役 常務執行役員 柴田 徹也
- 取締役 檀上 芳郎
- 取締役 高橋 靖彦
- 常勤監査役 平井 洋行
- 監査役 津田 多聞
- 監査役 吉濱 浩一
- 監査役 合田 清

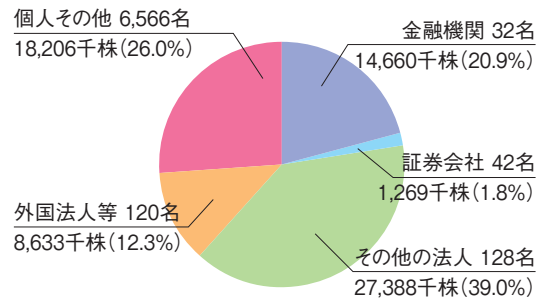
## 株式の状況

(平成25年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 156,693,000株
- 発行済株式の総数 70,156,394株
- 株主数 6,888名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
JXホールディングス株式会社	22,739	32.4
タツタ電線株式会社(自己株式)	6,367	9.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,662	6.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,350	3.3
住友金属鉱山株式会社	1,921	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,503	2.1
日本興亜損害保険株式会社	1,179	1.7
個人株主A	1,015	1.4
野村信託銀行株式会社(信託口)	969	1.4
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS AGENT BNYM AS EA DUTCH PENSION OMNIBUS 140016	940	1.3

## 所有者別株式分布状況



## ホームページ

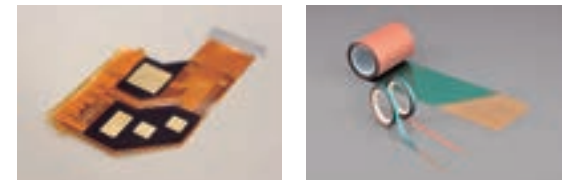
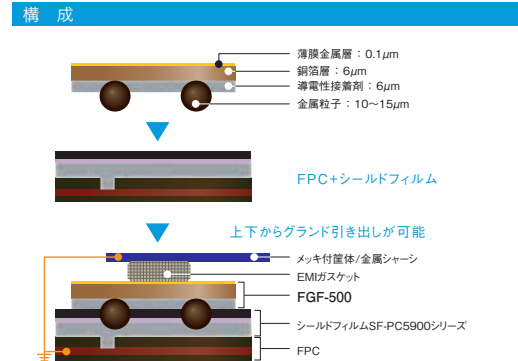


アドレス <http://www.tatsuta.co.jp>

# TOPICS トピックス

## シールドフィルム用 グランド引き出しフィルム「FGF-500」

「FGF-500」は、当社製FPC（フレキシブル回路基板）用電磁波シールドフィルムと組み合わせることによって、自由にシールドフィルムの上からグランド（基準電位接地点）を引き出すことが可能となります。これにより薄型化・高密度化が進む電子機器の回路設計自由度を高めることができます。



FPC+シールドフィルム上に貼付した「FGF-500」

## ボンディングワイヤ製造販売子会社（マレーシア）が竣工

当社では、銅ボンディングワイヤ製品の顧客の多くが近郊に立地するマレーシアに、当社100%出資の子会社「Tatsuta Electronic Materials Malaysia Sdn. Bhd.」を設立し、事業の立上げに向けた諸準備を進めておりましたが、このたび関連工事が完了いたしました。

今後、順次のサンプル配布および顧客認定のプロセスを経て、本格的な事業の立上げを図るとともに、一層の事業拡大を目指した取組みを進めてまいります。なお、同社の概要は次のとおりです。

所在地：マレーシア セランゴール州 シャー・アラム地区  
事業内容：ボンディングワイヤの製造および販売  
資本金：10百万RM（約3億円（2013年9月末のレートによる））

